



## 大地申1号「JR東労組大宮地本第19回定期大会」の発言に基づく申し入れ第2回交渉⑥

5. 2018年度の女性設備新設及び改良等の計画を示すこと。また、女性活躍推進法に基づく女性社員の「育成と定着」を実現し、働きやすい職場環境を構築していくために設備の新設及び改良・拡充を早急に行うこと。

女性設備については、必要に応じて順次整備を進めていく考えである。

組合) 女性設備の計画はどうか。今年度の計画は？

会社) 全体的な話だが、職場環境を構築していく。現場の声を聞いて設備改善は進めて行く。

組合) 特に女性設備については不十分だという考えから申し入れている。

会社) 各系統からの回答は以下のとおり。

(運輸) 新たな設備の計画はない。

(営業) 新幹線ホームの女性トイレ、小山駅、那須塩原駅。

(設備) デポのトイレの整備をしていく。箇所は栗橋、北浦和を実施してきている。

組合) 女性社員の声を聞きながら整備を進めるということで良いか。

会社) この間も女性社員の声を聞いている。完全ではないが、現場の声を参考にしながらやっていく。

組合) 基地再編の中でも女性社員が宿泊設備を整えるという事で良いか。

会社) 当然、全部の箇所に女性は入れたい。基地再編が進んでいく中で環境は整備していく。

組合) 今後、女性の登用はさらに上げていくのか。

会社) プレス発表したのは2018年度末までに全体で女性を3割、駅・乗務員は4割で採っていくとなっている。支社では3割。駅・乗務員はもっと多く採用できている。いろんな議論もあるが、採用した女性社員が辞めないように制度含めてやっていく。

組合) 計画的に整備がやられているのはありがたいが、改修や新設もしていかないといけないことに危惧している。設備も整えていくのが重要。追い付いてない所もあると思う。

会社) 泊まる箇所の制約もあると思う。男性社員からも設備面をよろしくという声も揃っている。

**女性設備の新設、改善は現場の声を聞きながら進めることを確認！**

**今後も大宮地本は職場からの声を基に、真摯に労使議論を行っていきます！**